



府中国際交流サロン
FUCHU INTERNATIONAL SALON

くろするろ〜ど

2018/2月号

かいほうし
会報誌

ふちゅうこくさいこうりゅう
府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たすあ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動
をつづ 続けています。

★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★crossroad★★★★★

〜サロン月間カレンダー2月〜

■文化交流活動

2月2日(金) 午前10時30分〜12時

ダンス教室

2月9日(金) 午前10時30分〜12時

絵手紙教室 (費用100〜200円)

2月16日(金) 午前10時30分〜12時

生け花教室 (花代500円) 要予約

2月23日(金) 午前9時30分〜午後1時30分

料理教室

場所：中央文化センター 料理室

費用：500円

定員：18名 要予約

★対象はサロン学習者またはボランティアの方。

★申し込みはサロン事務局まで。

■音声講習会

題名：「日本語の発音について知ろう」

日時：2月10日(土) 午後2時〜4時

講師：中村則子先生(東京外国語大学非常勤講師)

場所：サロン3階第2会議室(学習会の部屋)

対象：研修I終了のボランティア(必須)

現ボランティア

*詳しくは、「みんなの広場」をご覧ください。

2月第3水曜日の勉強会はお休みなさい。

(研修部会)



「日本語学習発表会」

しかい はっぴようしゃけつてい
司会・発表者決定

かんじ きんようご ごぶかい ながえまきみ
幹事 金曜午後部会 永江正美

「2017年度日本語学習発表会」が、今年も3月10日(土)、午後1時から日本語学習室で開催されます。司会者・発表者として次の方々が決まりましたのでお知らせします。

❖司会者 韓国 朴明賢

❖発表者 (国名・人名はアイウエオ順)

○アメリカ (ステファン ボン ウーダー)

○インドネシア

(ナシワ ラセンドリヤ ラデスタラ)

○中国 (安 玥嬌)(吳 宇航)(張 鳳納)

(董 瑞玲)(李 俊松)

○トルコ (カラクシュ ファツマ)

○ネパール (イスワル チャンドラ ヤダウ)

○ベトナム

(ヴ ティ フォン) (グエン ティ ラン)

(グエン ミン フィ) (ディン ティ タイン ハン)

(ファム ティ チャン) (リ アイン ドウク)

○ミャンマー (ヒイン イン チョ)

司会者と発表者が、日頃の学習成果を慣れない日本語で一生涯懸命伝えようとするその姿には、きっと感動を覚えることと思います。

学習者の皆様には、いつまでも心に残る思い出となりますように。

また、支援ボランティアの皆様お疲れ様です。学習者がベストを尽くせるよう、あと一押し、心底からの応援よろしくお願ひ致します。

— 司会者・発表者の皆さん頑張って！ —

(編集部注：司会と発表者のお名前は敬称略)

世界の文化

「今は皆さんと話せます」

ファム ゴック ソン (ベトナム)

皆さん、こんばんは。

私はソンと申します。ベトナムから来ました。東芝社員です。今まで2年間ぐらい日本にいました。私の先生はS先生です。今月の28日に帰国します。今日は私の最終日です。

日本でいろいろな思い出があります。日本は美しい国です。私は多くの場所へ行きました。お台場とか高尾山、名古屋とかへ行きました。今年のお正月に大阪と京都にも行きました。いっぱい写真を撮りました。富士山も見ました。とてもきれいです。

去年の3月にサロンで勉強を始めました。その時私は日本語がぜんぜんできなかった。文法がちよっとだけわかって新語が多くて皆さんと話せなかった。でもS先生は忍耐で教えてくれました。先生のおかげでよりよくなりました。今私は皆さんと話せます。S先生は先生だけでなく親友になりました。先生にいろいろな話を話しました。先生、お世話になりました。ありがとうございます。

今日は私の最後の日です。皆さんと先生たちはいつも助けてくれてありがとうございました。ベトナムで日本語を続けて勉強します。機会があったらここに来ます。以上です。よろしくお願いいたします。

*編集部注: ソンさんは、金曜夜の学習会で勉強し、昨年12月末にベトナムに帰国されました。この文は、12月22日の、彼にとって最後の学習会で帰国にあたって挨拶されたものです。



「石油工学とは？」

ティエンタヌキット ウィリア (タイ)

私が今、農工大学留学生として勉強している石油工学は、地下数千メートルで起きている問題を診断する技術です。

深い地下の状況を実際に目で見るわけにはいかないので、地表で穴をあけて、圧力や流量 (flow rate)などを測って、その情報と経験を合わせて、状況を判断します。

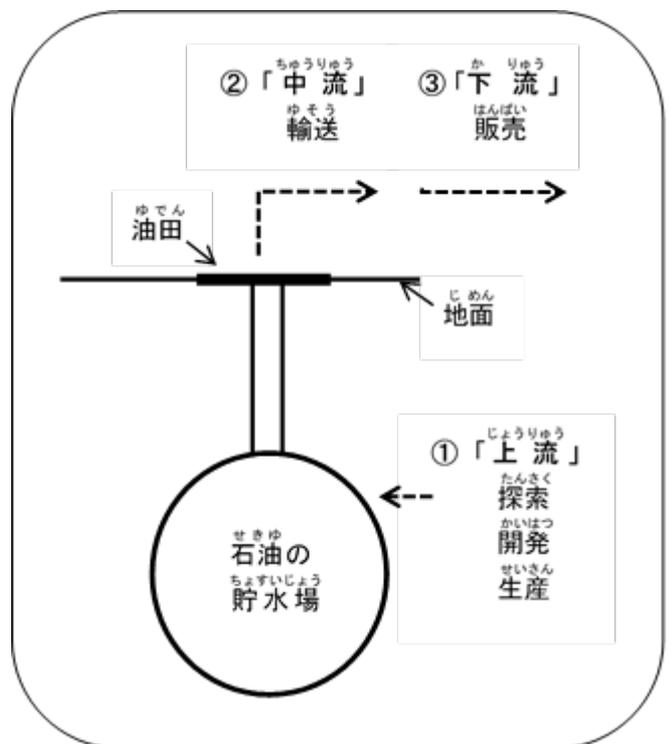
石油、天然ガスを探して、開発、生産、輸送、販売を行う事業のことです。

川の流れるに例えることが多く、一般的には、

- ①探索、開発、生産を「上流」
- ②輸送を「中流」
- ③販売を「下流」

と呼んでいます。

私が学んでいるのは探索で、「上流」の部分です。



「ぜひ、グルノーブルへ」

ロウ・クリストファー (フランス)

私はグルノーブルという町から来ました。近くにはシャルトリューズやヴェルコールやベルドンという山々があって素敵な景色を作っています。

次にグルノーブルには色んな観光地があります。例えばバステューユという城があります。とても古いですが、石で作られているのでよく保存されています。城に登ったらグルノーブルのとても綺麗な景色が見えます。特に夜、町の光が輝いて美しいです。

その他、グルノーブルには強い汚染があります。理由は周りに山が多いから悪い空気が町に残ります。グルノーブルは盆地になっているからです。それで政府はいくつかの規則を設定しました。例えば車のスピードは30キロ以下、以前は50キロ以下だったので人々はそのルールをあまり守りません。

また、山はグルノーブルからあまり遠くないので色んなアクティビティができます。例えばハイキングとスキーはどこでもできます。パラグライダーやハングライダーで有名なクップ・イカールというトーナメントもあり、たくさんのライダーを見ることができます。最後にグルノーブルの隣にヴォアロンという町があります。そこでは有名な酒が作られています。名前はシャルトリューズといい、僧侶が作っています。色は緑でとても強い酒です。

ぜひグルノーブルに行ってみたらいかがでしょうか。その時は私もお供しますよ。しかしグルノーブルは日本より寒いですから暖かい服を着てください。

ありがとうございます。



ベルドン山とグルノーブル



バステューユの城

※ ※ ※ ※

ベトナムお国事情 ~2~

「ベトナムの大学入試センター試験」

グエン・スワン・ティン (ベトナム)

皆さん、お久しぶりです。

もう真冬に入ってるけれども、風邪を引かないようにしっかりと体調管理をくださいね。

さて、引き続きベトナムについてご紹介させていただきたいと思います。今回はベトナムのセンター試験です。日本では大学入試のセンター試験を受験する受験生は都会を離れた所や山奥などの出身の受験生と都会出身の受験生も区別なく試験の採点がおなじというのが一般ですね。一方、ベトナムの方ではちょっと面白いことがあります。センター試験を受験する受験生は出身地等によって採点の優遇があり、有無が分けられます。例えば、都会を離れた所や山奥などの出身の受験生、少数民族の受験生、ベ

みな がかしゅうしゃしょうかい
皆さんよろしく◇学習者紹介

トナム戦争時に貢献した傷兵の子供の受験生、徴兵制度受け中の部隊の受験生等に対して都会出身の受験生より 0.5～2点を加点されるという優遇があります。詳しい優遇はベトナムの文部科学省によりちゃんと規定と対象区分があります。何故ベトナムでセンター試験の加点制度があるのでしょうか？皆さんご存知かと思いますが、多民族国家（ベトナム国語が分からない少数民族も沢山居る）で、また戦後、ベトナム全国のインフラ整備が殆どないので、所々によって教育に格差が生まれる為、ベトナムの文部科学省はセンター試験の加点制度を通じて所々の教育の格差を和らげたり、ベトナム戦争時に貢献した傷兵に対して感謝したいという政策でもあります。

皆さん、ベトナムについて色々面白いことがありますね。今回はここまでご紹介させていただきました。また。

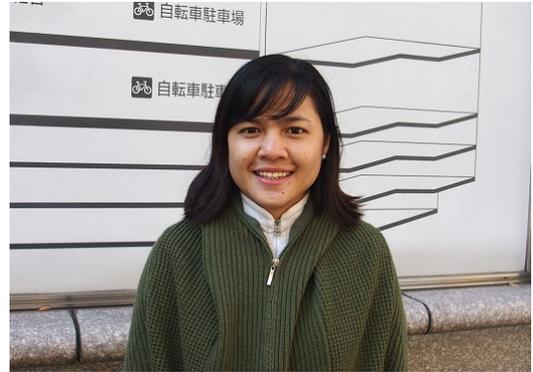
編集部注：グエン・スワン・ティンさんには、先月の「私のつぶやき」欄で、日本とベトナムの「飲み会」文化の違いを紹介していただきました。不定期ですが今後も、ベトナムの興味あるお国事情を紹介していただきます。

（絵手紙）



ながたみつこ
永田光子

クット スレエモームさん（カンボジア）



「日本語の勉強が大好きです」

2017年4月カンボジアのカンポントム市からきました。

3月に結婚し、ご主人は2年前から東京農工大学に留学していて、4月からは、博士課程で勉強しているの、二人で府中に住んでいます。

ご主人とは同じ大学で知り合い、クットさんは助産婦の勉強をしたので、結婚するまでの5年間助産婦として働いていました。

日本に来る前に8ヶ月日本語の勉強をしたのと、来日したその月からサロンで週3日勉強しているので、とても上手にお話ができます。

趣味は旅行、料理、勉強と言うぐらい日本語の勉強が好きで、文法や漢字まで興味を持っています。

日本に来てすぐ桜を見て感激し、また、秋には紅葉の美しさに魅せられたそうです。

お寿司も大好きで、日本の生活を楽しんでいる様子が伝わってきました。（堤林）



こう えん かい ほう こく 講演会報告

こうえんかいほうこく たいわがたかつどう 「講演会報告～対話型活動のすすめ」

げつようごご ぐぼたあけみ
月曜午後ボランティア 久保田明美

1月13日（土）、聖心女子大学の岩田一成先生をサロンにお招きして、地域日本語教室での「対話型活動のすすめ」について講義していただきました。

皆さんは初級学習者さんと会話が弾まなかったり、話題に困ったり、ただフリートークするだけで学習になるのだろうかなどと、悩んだことはありませんか。

そのような時、おしゃべりを支援する教材『にほんごこれだけ1・2』をワンポイントレッスンで使ってみてはいかががでしょうか。学習の最初（20～30分）に目次から興味のあるトピックを選び会話を弾ませます。（絵を指さしながらのコミュニケーションもできます）その後、学習者のニーズに合わせた勉強をしたり、トピックの内容を掘り下げて学習したりする。先生はそのような使い方を提案しています。

対等な人間関係を築くために、母語で言えることが日本語でも言えるようになることは大切です。

『みんなの日本語初級』は週1回2H使用で2冊終了に3年以上かかります。（300時間がめやす）

また文法項目も160以上。中級レベルのコミュニケーション（話す能力）を身につけるのに、学ぶ量が多いかもしれません。（書き言葉には必要です）限られた時間で話す能力を習得するには学習者のレベルに合わせて絞った語彙や文法を身につける必要があります。そして情報を正確に伝えるために、助詞の役割も非常に重要です。『にほんごこれだけ1』では文法は動詞のます形+助詞とし、対話を通じて助詞が自然に身につけられるような内容になっているそうです。（補助シート「これだけしたじき」も参照）

講演の最後におしゃべり活動での3つのポイントを教えてくださいました。

- ① 相手に伝わらなかったときは、言い換えましょう。
- ② 辞書（辞書アプリ）やメモ、教科書や本などのリソースを積極的に使いましょう。
- ③ 上手に質問して話を引き出し、相手が話すのを待ちましょう。

また『にほんごこれだけ』のホームページで、対話型日本語支援活動の動画が視聴できます。ぜひ参考になさってください。

※ ※ ※ ※

がいたい れんけい ほっぴょうかい 「外大との連携プロジェクト発表会」

げつようごぜん すいようごご しまだ
月曜午前・水曜午後ボランティア 島田ふみえ

サロンでは4年前から府中市、東京外国語大学（以下、外語大と略す）と一緒に外国人向けの便利帳を作成しています。今年のテーマは日本語が母語でない生徒の「高校進学・進路について」です。

1月13日（金）、サロンにおいて外語大学生が作成した便利帳の発表を行いました。用語集には英語、中国語で表記するなどの工夫をしていました。外語大指導者からは学生はインターンシップの一環として取り組みましたが、実際に活用してもらえるものに仕上がったと評価していました。

このテーマの背景には日本語が母語でない保護者・生徒は日本とそれぞれの外国の教育制度の違いが理解できない、用語が難しい等の問題があり、また高校進学が日本人より低いという現実もわかりました。そこで中学生が進路を決める際の三者面談（先生・生徒・保護者）で利用できるように、わかりやすい便利帳を作成して生徒の高校進学に役立てていただくということが今回のプロジェクトの主旨となりました。

今回の発表で外語大学生の参加は終了しましたが、今後は3月末を目途に府中市、サロン及び教育委員会とも連携して最終まとめをし、冊子にする予定です。

しん

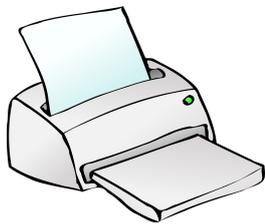
新ボラさん こんには

げつようごぜん 月曜午前ボランティア さかもとふみお 坂本文雄

すいようごご みやざわかずこ
水曜午後ボランティア 宮澤和子

「外国語ができなくてもいいんですか?」。日本語ボランティア研修に申し込むときに、私が質問したことです。2020年にオリンピック・パラリンピックが東京で開催される、おもてなしだ、海外からやってくる人と話すために少しは英語ができるようになってくるとは、とがんばらなくても、いつも使っている日本語で外国の方とお話しできるなんていいなと思ひ、参加を決めました。

私は6年前に府中市に引っ越してきました。在宅でパソコンを使った仕事をしていて、日中は独りです。会話することは認知症予防になるので、学習会は私の脳トレの時間にもなります。そして国籍を問わず、府中市やその近くにお住いの方々と知り合う絶好の機会です。学習者の方が日本語でたくさんお話しできるように、お手伝いしていきたいと思ひます。



げつようごぜん いのともか
月曜午前ボランティア 新野友花

日本語で異文化交流ができるなんて面白そう、しかも社会貢献もできる!と思ひ飛びついたのでこの日本語学習ボランティアです。しかも日本語教授法研修会付き。そしてこの研修会が面白かった!大人になってから興味のある事を学ぶとこんなに楽しいものなのだ、思ひがけない発見となりました。いづれ日本語教師養成講座にも通いたいと(今のところは)考えています。勉強したいと思ひえる事に出会えて有難く思ひます。まずは学習者さんとの交流を思い切り楽しむところからスタートしたいと思ひています。先輩ボランティアの皆さま、学習者の皆さま、どうぞ宜しくお願ひします。

国際交流サロンを知ったのはまったく偶然でした。国体の用件で府中駅北第2庁舎に行った時、3階にサロンがありました。それから数年たったある日、小林幸江先生の講演会があることを知り参加しました。それがボランティアのきっかけです。外国の方に日本語を覚えて頂くためのボランティアは絶対に必要です。けれども、私は何事に対しても基本・基礎ができていません。ところが、意外にも外国の方と交流するのが好きなようです。しかも、言語に興味があります。だが、言語能力は絶対的にありません。

ところで、地域との関わりでは社会福祉で小さな団体の会長、施設の評議員などをしております。また、大國魂神社例大祭(くらやみ祭り)では白丁で神輿をかついでいます。そして、ちょっとだけタイ語ができる(辞書が引ける程度)高齢の新人です。みなさんよろしくお願ひします。

すいようごご さわいけいこ
水曜午後ボランティア 澤井恵子

昨年7月に日本語ボランティア研修を受講し、9月からお手伝いをさせていただいております。

私は、一昨年東京消防庁を定年退職し、専業主婦となりましたが、時間を有効に使う何かを捜していたところ市報で国際交流サロンの活動を知り研修を受講しました。

研修は、楽しくもあり、難しくもありましたが、久しぶりに私に新鮮な時間を与えてくれました。

さて、サロンでは現在中国内モンゴル出身の方と一緒に楽しく学習させていただいております。教えることの難しさをひしひしと感じながらも、私のモットーとする「明るく、楽しく、元気よく!」を実行しつつ頑張っております。

どうぞよろしくお願ひいたします。



わたし 私の☆つばやき

「金曜午後のお楽しみ会♪」

金曜午後部会 安島文江

金曜午後部会では年3回「お楽しみ会」を実施しています。「お楽しみ会」は文字どおり、♪歌って・踊って(ゲーム・体を動かす)・飲んで・食べて・おしゃべりして・・・♪ 参加した皆さんがとにかく「楽しむ」会です。

この会の企画はこれまでは委員だけで作っていました。それはそれで盛り上がっていましたが、最近、サロンミーティングの時にみんなで意見・アイデアを出し合い、楽しい会に育ってきたと思います。

前回(12月)の「お楽しみ会」では、【グループに分かれて歌を歌う。ただ、歌う前にその歌の成り立ちを説明し、体全体を動かしながら歌う。その後、全員が慣れてきたところでゲーム感覚の自己紹介そして自由におしゃべり】というアイデアを取り入れ、楽しい時間を過ごすことができました。

サロンではほとんどの学習者が、友達が欲しい、もっと多くの人と会話がしたい、と思っています。でも、普段は学習者とボランティアが1対1という形で学習しているため、まわりの人たちとは顔見知りではあるけれどなかなか話す機会がありません。このコミュニケーションの貴重なきっかけとなったのが「お楽しみ会」なのです。これからも参加したボランティア、学習者の皆さんが一人ひとりお互いをしり、交流を深められるような会になっていけたら、と思います。



にほんご 日本語おちほひろい

~49~

「馬から落馬」

金曜夜ボランティア 和田泰弘

昨年(きんようご)はロシア(ろしあ)革命(かくめい)から100年(ねん)目(め)にあたる節目(ふしめ)の年(とし)。秋(あき)の宵(よい)・飲み会(のかい)でそれを肴(さかな)に話(はなし)は連想(れんそう)ゲーム(げーむ)のようにとりとめなく広(ひろ)がりました。曰(いわ)く、「革命(かくめい)は第一次(だいいちじ)世界(せかい)大戦(たいせん)と重(かさ)なっていた」「トルストイ(とるすとい)の『戦争(せんそう)と平和(へいわ)』に描(えが)かれる戦争(せんそう)はこの時代(じだい)?」「いやそれはナポレオン(なぽれおん)がロシア(ろしあ)に侵攻(しんこう)したとき(とき)の戦争(せんそう)で、もっと前(まえ)」「芥川(かいけん)龍之介(りゆうのすけ)の短編(たんぺん)『首(くび)が落ちた話(はなし)』の戦(せん)闘(とう)場面(ばめん)は、『戦争(せんそう)と平和(へいわ)』の白兵戦(はくへいせん)の描(えが)写(しゃ)を換骨(かんとく)奪胎(だつたい)したという説(せつ)がある」等々(とうとう)。

「『首(くび)が落ちた話(はなし)』って、どんな話(はなし)?」と聞(き)かれ、「日清(にっしん)戦争(せんそう)が背景(はいけい)で、馬(ば)上(じやう)戦(せん)で中国(ちゆうごく)兵(へい)が日本(にほん)兵(へい)の振(ふ)り下(くだ)ろす軍刀(ぐんとう)で首(くび)を切(き)られ馬(ば)から落(おち)馬(ば)し、生(せい)死(じ)をさ(さ)ま(ま)よ(よ)彼(かれ)の脳(のう)裏(り)に過(か)去(こ)の意(い)識(し)がフラッシュバ(っ)ックし…」と説(せつ)明(めい)している、と、「馬(ば)から落(おち)馬(ば)は変(へん)だ(だ)よ」と一(ひと)人(り)が口(くち)を挟(はさ)みま(ま)した。「『落(おち)馬(ば)』には、『馬(ば)から落(おち)ち(ち)る』という意(い)味(み)がす(す)で(で)に含(こ)ま(ま)れてい(い)るんだ(んだ)から」と。「馬(ば)から落(おち)馬(ば)する」は、「頭(かぶ)痛(いた)い」「い(い)ま(ま)だ(だ)に未(み)解(かい)決(けつ)の事(じ)件(けん)」「一(いち)番(ばん)ベ(ベ)ス(ス)ト(ト)な方(ほう)法(ぽう)」な(な)ど(ど)のよ(よ)う(う)に、意(い)味(み)が重(じゆう)複(ふく)する重(じゆう)ね(ね)言(ごん)言(ごん)語(ご) (重(じゆう)言(ごん)と(と)も(も)い(い)う)だ(だ)った(た)ん(ん)です(す)ね。

「決(けつ)着(ちゃく)が(が)つ(つ)く」「違(い)和(わ)感(かん)を(を)感(かん)じ(じ)る」な(な)ど、会(かい)話(わ)では何(なに)気(き)な(な)く使(つか)っ(っ)てい(い)るこ(こ)と(と)ば(ば)も、文(ぶん)字(じ)に(に)す(す)ると意(い)味(み)が重(じゆう)複(ふく)して(して)い(い)るの(の)がわ(わ)か(か)り(り)ま(ま)す。「決(けつ)着(ちゃく)」だ(だ)け(け)で「決(けつ)ま(ま)り(り)が(が)つ(つ)く」こ(こ)と(と)を指(さ)す(す)ので「つ(つ)く」が余(よ)分(ぶん)に(に)な(な)り(り)ま(ま)す。こ(こ)こ(こ)は、「決(けつ)着(ちゃく)を(を)み(み)る」が適(てき)切(せつ)な(な)ので(ので)し(し)ょう(じょう)か。「違(い)和(わ)感(かん)」も、「な(な)じ(じ)ま(ま)ない(ない)感(かん)じ(じ)」な(な)ので、「感(かん)じ(じ)る」を(を)加(か)え(え)ると二(に)重(じゆう)に(に)な(な)り(り)ま(ま)す。「違(い)和(わ)感(かん)を(を)覚(おぼ)える」「違(い)和(わ)感(かん)が(が)あ(あ)る」とした(した)ほう(ほう)が(が)よ(よ)い(い)ので(ので)し(し)ょう(じょう)。あ(あ)る新(しん)聞(ぶん)の、読(よ)者(しや)ア(ア)ン(ン)ケ(ケ)ー(ー)ト(ト)に(に)よ(よ)る「気(き)に(に)な(な)る重(じゆう)ね(ね)言(ごん)言(ごん)語(ご)」という特(とく)集(じゆう)記(き)事(じ)に(に)次(つぎ)の(の)よ(よ)う(う)な(な)もの(もの)が(が)あ(あ)り(り)ま(ま)した(した)。

「後(こう)遺(い)症(じゆう)が(が)残(のこ)る」「過(か)半(はん)数(すう)を(を)超(こ)える」「留(りゅう)守(しゆう)を(を)守(まも)る」「あ(あ)と(と)で(で)後(こう)悔(かい)す(す)る」「お(お)膳(ぜん)立(た)て(て)を(を)そ(そ)ろ(ろ)え(え)る」「災(さい)天(てん)下(か)の(の)も(も)と(と)で(で)「挙(きよ)式(しき)を(を)挙(あ)げ(げ)る」な(な)ど(ど)な(な)ど(ど)。これ(これ)ら(ら)の(の)重(じゆう)ね(ね)言(ごん)言(ごん)語(ご)ど(ど)こ(こ)が(が)変(へん)な(な)ので(ので)し(し)ょう(じょう)か。学(がく)習(じゆう)者(しや)と(と)一(いっ)緒(じよ)に(に)考(こう)え(え)て(て)み(み)る(る)の(の)も(も)一(いっ)興(きよう)か(か)も。こ(こ)の(の)原(げん)稿(こう)を(を)書(か)き(き)な(な)が(が)ら、次(つぎ)回(かい)の(の)原(げん)稿(こう)の(の)テ(て)マ(マ)が(が)ま(ま)だ未(み)定(てい)な(な)の(の)が(が)気(き)に(に)な(な)っ(っ)て(て)い(い)ま(ま)す。あ(あ)れ(れ)っ、こ(こ)れ(れ)も(も)重(じゆう)言(ごん)言(ごん)語(ご)?

「音声講習会のお知らせ」

教授法研修会の一環として、中村則子先生（東京外国語大学非常勤講師）による日本語の音声についての講習会を下記の要領で開催いたします。

「日本語の発音について知ろう」というテーマで、学習者の国ごとに異なる発音の特徴をはじめ、拍の取り方、音声の学習方法等々、日本語の音声の基本的知識をわかりやすく解説していただきます。

■日時：2月10日（土）14時～16時

■場所：府中駅北第2庁舎3階・第2会議室
（学習会の部屋）

■対象：教授法研修Ⅰ終了の新ボランティア
現ボランティア
学習者で興味のある方

■費用・無料

お申し込みは、サロン事務局にある参加者申し込み用紙にお名前をご記入下さい。お誘い合わせのうえ、どうぞ奮ってご参加下さい。（研修部会）

（絵手紙）



重村めぐみ

会報部会では、「サロン設立20周年記念号」を昨年（2016年）の新年号として発行し、サロンの歴史をたどりました。

20ページ仕立てで、1995年のサロン設立から20年間の活動の記事や、学習者、ボランティアの原稿などが多く掲載されています。

「原点を知る」という意味でも、まだ読まれていない方は、是非読んでみてくださいね。（高柳）

*「サロン設立20周年記念号」は、サロン事務局ホームページでご覧ください！



【編集】会報部会/和田、堤林、高柳、篠塚、坂倉、岩城、増田

【事務局】電話：042-352-4178

E-mail: mail@fuchukokusai.gr.jp

サロンのホームページ

<http://www.fuchukokusai.gr.jp>